

わたしたちの同窓生

《母校創立114周年》

会員数 32,484名  
平成25年4月1日 現在



2013.4.1 第27号

発行所 群馬県立高崎女子高等学校  
同窓会  
〒370-0062 高崎市稲荷町20  
電話 (027) 362-2585  
発行責任者 村田喜代子  
印刷 株式会社 精真社

同窓会の皆様におかれましては、ご健勝で活躍のこととお慶び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に温かいご支援とご協力をいただきお礼申し上げます。  
平成24年度においても生徒達の熱心な取組が実り、多くの好成績を収めることができました。山岳部は5月に県高校総合体育大会で優勝し、昨年に続き夏の全国高校総体連覇を目指しました。結果は惜しくも3位でしたが、次は頂を目指すと九州・大分の山並みに想いを馳せています。新体操部、ソフトテニス部、剣道部、弓道部もインターハイに出場。合わせて6人の2年生が全国の舞台を経験して次の北九州インターハイに照準を絞っており、今後の活躍が期待されます。学芸部でもマンドリン部、放送部が全国



ご挨拶  
校長 茂木道弘

大会へ出場し、全国高校総合文化祭富山大会へは百人一首、音楽、書道、文芸、自然科学、放送の各部が参加しました。  
平成15年度より文部科学省から指定を受けたスーパーサイエンスハイスクール事業は終了となりました。10年の長きにわたりご指導いただきました関係の皆様へ厚く御礼を申し上げます。今までの研究の蓄積を生かし高女生が大きく育つべく、今年度の期待してやみません。昨年11月に「科学の甲子園」群馬県大会が行われ、本校2年生で構成したチームが最優秀賞を受賞し、全国大会(平成25年3月23日)25日 兵庫県立総合体育館)への出場権を獲得しました。理科・数学・情報における複数分野の知識やその活用を競い合う大会

同窓会の皆様お健やかにお過ごしのこととお慶び申し上げます。昨年5月の役員改選に依り会長の大役をお引き受ける事になりました。以前より常任理事として各委員会には出席し同窓会記念誌、朝夕窓の出版の時は界外の先輩を訪ねインタビューしたりして今更ながら歴史は一朝にしてならずと思ひ、高女同窓会の偉大さを感じておりました。



伝統と誇りを胸に  
同窓会長 45期(女45) 村田喜代子

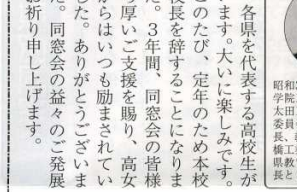
が、いざ会長の役になると戸惑う事ばかりです。そして有能な3名の副会長及び関係者の皆様のお力を得、小さな歩みを踏み出しました。同窓会発足110年の記念式典と祝賀会も盛大に行われ、母校に記念品として家庭科調理器具を贈呈いたしました。また会報、名簿、旅行、常任特別の各委員会も軌道に乗れ、それぞれの活動しております。私は昭和17年に高女に入学し

同窓会入会式



入会の言葉  
生命の潤いを肌で感じ、待ち望みつつもどか名残り惜しい春の訪れを前にして、たった今私たちは卒業致しました。

新校長紹介



尾池 武  
昭和30年生まれ。群馬県立高崎女子高等学校教諭(主任)、群馬県立高崎女子高等学校教諭(主任)、群馬県立高崎女子高等学校教諭(主任)、群馬県立高崎女子高等学校教諭(主任)、群馬県立高崎女子高等学校教諭(主任)。

21年に卒業いたしました。未だ広町の学校工場で風船爆弾を造る作業中、空襲で校庭の防空壕に逃げこんだ時代です。今の在校生を見るにつけ、平和は尊い良いものだとしみじみ思います。生き生き光り輝き、学問に運動、音楽に美術等各分野で全国に高女の名をとどろかせ活躍しております。私は母校を愛しております。未熟ではございますが、同窓生の力強い応援をお願い申し上げます。ご挨拶といたします。

同窓会総会

5月1日の開校記念日に、多くの会員と、茂木校長をはじめとするご来賓の方々のご列席をいただき、母校椎樹館にて平成24年度同窓会総会が開催されました。  
吉村会長からは、明治32年に群馬県で初めて開校した女学校としての母校の長い歴史を辿るものとなり、未だ町史舎正門前の石橋欄干として使用されていた石が、昨年改められた椎樹館前の植え込みを設置されたことが紹介されました。また、未だ町に開校してから現在の稲荷校舎までの貴証書を手にし、憧れの高女で3年間を全うしたという誇りと心地良い重みを実感しております。震災の揺れを共に体験し、強くなった絆を勉学や行事の中で一層深めてきました。緊張した自己紹介からは予想もできなかった紹介から、また、自分がいつの間にか出てきて、笑顔も泣き顔も見えて、この学び舎を巣立ったたとして、隣には助け合える仲間が、後ろには後輩が、そして先には沢山の人生の先輩方がいます。  
同窓会という名のもと、生まれる前から紡がれ、これか

83期(高36) 遠藤真由子

重なる母校の歴史を伝える品々や、卒業生の素晴らしい作品等資料を昨年整備した松樹館が新たに公開されたご案内をしていただきました。これまで母校で多くの卒業生が青春を過ごし、歴史を刻んできたことに気持ちをお寄せしました。また、今年度が同窓会発足110周年にあたり、6月に恒例の旅行に絡めて記念式典と祝賀会が伊香保温泉にて予定されています。  
お話を、多く、多くの会員の皆様へ呼びかけられ、参加が呼ばれました。節目の年を記念し、新たな歴史を刻んできて、同窓会の勢いを感ぜさせ



Table with 4 columns: Date, Time, Event/Venue, Contact Information. It lists various events like the general meeting, anniversary events, and a yearbook release.

Advertisement for the 25th year alumni association general meeting and lecture. It includes details about the date (May 1st), time, location (Matsukitani), and the featured speaker, Gato Festsu Harada.

られました。さらに、今年度は役員改選にあたり、新役員が紹介されました。新役員から前役員へ花束が贈呈され、会場は和やかな雰囲気になりました。最後の校歌合唱では、会員の声と心が美しいハーモニーを奏で、世代を超えた母校への繋がりに大きな支えを感じました。

※26年度の当番期は85期(高38回)です

母校の近況

弓道部 3人制で決勝トーナメント進出

弓道部は、11月に行われた東日本高校弓道大会県予選で優勝を果たし、3月24日・25日に茨城県武道館で行われた本大会(各県2校44校参加)に出場しました。



弓道部は、11月に行われた東日本高校弓道大会県予選で優勝を果たし、3月24日・25日に茨城県武道館で行われた本大会(各県2校44校参加)に出場しました。

文芸部 全国大会で8年連続入賞

文芸部は、年一回「椎樹」という部誌を刊行しています。今回の69号は、県高校生文学賞文芸部部門で最優秀賞を、全国高等学校文芸コンクール文芸部部門で奨励賞を、それぞれいただきました。



文芸部は、年一回「椎樹」という部誌を刊行しています。今回の69号は、県高校生文学賞文芸部部門で最優秀賞を、全国高等学校文芸コンクール文芸部部門で奨励賞を、それぞれいただきました。

科学の甲子園 出場校中紅一点 光る健闘

3月23日～25日に兵庫県立総合体育館で開催された「第2回科学の甲子園」に群馬県代表として出場しました。



科学の甲子園大会の様子。出場校中紅一点の健闘が光りました。

主な部活動成績 (平成25年3月27日現在)

各部活動の成績一覧表。体育、文芸、科学の甲子園などの結果が記載されている。

平成24年度大学合格者数 現役+過年度卒( ) 平成25年3月29日現在

大学合格者数の一覧表。国立大学と私立大学の別、各大学の合格者数が示されている。

編集委員会メンバーの名簿。編集委員の氏名と所属が記載されている。

「ネットボール」で目の丸。高女からバスケットボールを始め、定年退職するまで、バスケットボール界で生きて来ました。日丸には縁がありませんでした。

JAPAN 復興へ向かって。大震災の折はお見舞いありがとうございました。我が家は幸い無事でしたが、

北から南から。掲載は平成24年度のもので、おハガキ・払込用紙の通信欄等で、皆様の近況をお知らせください。

同窓会からのお願い。同窓会維持費納入について、皆さまご承知の通り、同窓会には各位が納入される義務があります。

あしがき。同窓会創立110周年記念の年、に会報編集の担当に任ぜられ、第27号の発行に向かって24年9月に委員会を立ち上げ携わってまいりました。

同窓会からのお願い。同窓会維持費納入について、皆さまご承知の通り、同窓会には各位が納入される義務があります。

あしがき。同窓会創立110周年記念の年、に会報編集の担当に任ぜられ、第27号の発行に向かって24年9月に委員会を立ち上げ携わってまいりました。

あしがき。同窓会創立110周年記念の年、に会報編集の担当に任ぜられ、第27号の発行に向かって24年9月に委員会を立ち上げ携わってまいりました。

# 110周年記念祝賀会親睦旅行

## 祝賀会と親睦旅行に参加して

84期(高37) 静野容子  
 本年の親睦旅行は、同窓会設立110周年記念式典をおこなって3台のバスに分乗して伊香保「福一」で一泊旅行という大掛かりなものとなりました。



宿へ着くと各々お部屋に案内され、式典開始の時間まで、同室の先輩方に旅行委員の体験談などを楽しく聞かせていただきました。

いよいよ式典の会場へ、先に配布されたパンフレットを

拝見し、今回の参加者が60名、大先輩のご参加もあり、改めて高女の伝統と結束力の強さを感じました。式典はご挨拶、来賓のご祝辞とご進みとなりました。途中、ゲリラ豪雨のような雨が降り出し、広々とした会場の外での突然の豪快な風景も堪能することができました。コール推樹の合唱も素晴らしい、最後に校歌の合唱を学生時代を思い出しながら、久しぶりに参列の皆様と楽しく歌わせていただきました。

休憩の後、記念祝賀会が実行委員会のご進行で開催されました。おいしい食事に舌鼓を打ちながら、赤羽先生のご指導で、「歌でつづる110周年」と題して高女の歴史と世相を重ね合わせての楽しいトークの合間に、その時代を代表する懐かしいメロディーを歌いながら、すばらしい時間を過ごさせていただきました。歌詞を載せて、工夫をこらした

翌日は、宿を後にして榛名湖畔の観光へ向かいました。あじろの天気、湖畔の風景は霧の中で、湖畔のガラスで工房を見学、最後は時代屋で昼食をいただき、高崎駅で無事に解散となりました。

初参加で緊張しましたが、幹事期ならびに旅行委員会

パンフレットもすばらしいです。

## 京浜同窓会のご報告

84期(高37) 笹島ゆづ子  
 第61回高女京浜同窓会が、平成24年7月1日東京目黒の椿山荘にて開催されました。高崎からのご来賓の方々にもご臨席いただき、総勢130名のにぎやかな宴となりました。

鈴木令子京浜同窓会長の挨拶にはじまり、村田同窓会長、茂木校長からのご祝辞、そして高橋副校長のご発声で乾杯となりました。フランス料理に舌鼓を打ちながら、各テーブルで思いついた花が咲きました。

アトラクションの最初は、「母校の歩み」の上映です。高女開校以来の写真を、ナレーション付のスライドにま



とめたもので、袴に始まる制服の変遷や末広校舎からの移転の様子などに、会場の方々から、感嘆の声が上がりました。

ミニコンサートでは、本島阿佐子さん(84期)のソプラノ、金井美奈子さん(同)の

**平成25年度 京浜同窓会の日程**

- ▶平成25年7月7日(日) 12時~14時30分
- ▶椿山荘オリオン2
- ▶連絡先 85期(高38) 須藤洋子

**平成25年度 親睦旅行へのお誘い**

~紅葉祭の高尾山と美術館~

- ▶期日 平成25年11月10日(日)
- ▶行程 高崎駅東口(7時半集合・出発) 高尾山→うかい竹亭→村内美術館→東京富士美術館→高崎駅(18時頃)
- ▶費用 13,000円
- ▶定員 50名(バス1台)
- ▶お申込み方法
  - (1) 母校椎樹館 平成25年9月2日(月) 10時~14時 (参加費を添えてお申込み下さい)
  - (2) 電話での受付 平成25年9月2日(月) 15時~20時 (静野)
- ▶振込先 ゆうちょ銀行
- ▶加入者名 高崎女子高校・高37回同窓会
- ▶お問合わせ 静野容子



実行委員会の諸先輩方のご助力で、快適に楽しく参加させていただきました。本当にありがとうございます。

## 期別同窓会

50期(高3) 金井幸子  
 「いつの間にか80歳!」と大方の同期生が思っているが、6月7日、ホテルメトロポリタン高崎、丹頂の間は大賑わいになりました。

実は喜寿の祝の時、猿ヶ京温泉一泊で全体に呼びかける同窓会が最終としたのですが、「会いたい!」の声が多く今回最終の最終会となったのです。

まず64名が揃って写真撮影。みんな若々しく元気。宴会場に移動して母校の概況や今回の欠席者の動静等を報告

## 新年会

83期(高36) 山岸るみ  
 平成25年2月3日、高崎ビューホテル「あかぎの間」で、高女同窓会新年会が開催されました。立春の当日は晴天に恵まれ、開場前からロビーには多くの同窓生が集い、あちらこちらで談笑の輪が広がっていました。

開会後、村田会長より次回総会が実業家として活躍の原田節子さん(74期)に講演を依頼したというご挨拶があり、茂木校長のご祝辞では、現在の高女はSSHの恩恵で理系クラスの数が増えた事、山岳部等部活動でも活躍していることが伝えられ、会場には大きな拍手が湧き起こりました。



した。和やかな雰囲気包まれた祝宴の中、110周年記念行事のスライドが映される事、半年前のご報告が懐かしく思い出されました。アトラクションは、北原正恵さん(83期)のソプラノと近藤陽子さん(90期)のピアノ演奏で、新年にふさわしい透き通る歌声で、私たちの心を豊かにしてくれました。また、北原さん

し、その後美味しい料理に少口口の運動が移りました。食後、全員に近況報告をして貰いました。趣味や旅行等を楽しんでいる反面、自分の健康を気づけながら家族の看護

等にも努めている人もいて、ここでは80歳を感じました。傘寿の記念に会津塗の特大箸を用意しました。毎日3回絆を感じての想いで。高女卒業以来60余年、同期会の思い出も数多く、友達は至、実感しています。

この後、米寿祝で会える?!

## 84期同窓会のご報告

84期(高37) 金井美奈子  
 平成24年8月19日、ホテルメトロポリタン高崎にて、84期同窓会が開催されました。

井田秋雄先生、北村友子先生にも御出席いただき、参加者80名ほどの賑やかな会となりました。

卒業以来、初めての学年同窓会でしたので、開始後は皆遠慮がてらでしたが、旧友の変わらない笑顔を見て、あつという間に打ち分け、会場は明るい笑い声で満たされました。

しばしの歓談のあと、一人30秒間の持ち時間で、全員の新況報告コーナーが設けられ

の共演者のお母様である泉美春さん(58期)も出席され、同窓生の繋がりに会場は盛り上がりました。コール推樹の合唱では、塚越玲子さん(69期)の指揮の下、日本歌曲の素晴らしい堪能することができました。

私たち83期は、旧・新校舎両方で学びました。新校舎に移り、やまもすると「伝統」ともあります。この歳になり幹事を任せ、新年会で高女の大先輩方と同じ時間を過ごし、ようやく私たちが、この素晴らしい大木の年輪に刻まれていることを肌で感じました。307名全員で合唱した歌に響かせ、良い一年を予感させる新年会となりました。

## 同窓会だより

62期(高15) 原勝代  
 椎の樹平成を号に「どんぐり会?」という題で初紹介されました。発足当初からの熱心な諸先輩の尽力で、今や女性ゴルファーの間では、知られ、羨しがられる存在でもあります。年齢層も幅広く、上級初級者入り混じっての年4回コンペは、他では

## 写真「昴」写真展

49期(高2) 望月清世  
 同窓会写真部「昴」を「昴」と改名して5年。第3回写真展を平成24年11月16日より21日迄、高崎シティギャラリーに於て、参加者6名、出品点数30余点「想いのまにまに」をテーマに、大河ドラマの「八重の桜」にならみ新島襄の史跡や香港の街並み、霧の中で咲く桜、光と影を意識した野佛や芭蕉ゆかりの寺社、日本カモシカの美しい毛並や草花等の作品で、感性豊かな展覧会となりました。入場者も同窓会の方々をはじめ多くの親覽者にご来場頂き、盛況裡に終了しました。誠に有難うございました。



**高女 どんぐり会**

ゴルフ同好会「どんぐり会」へのお誘い

- ▶連絡先 会長：竹内久代 59期(高12)



# 110周年記念式典

平成24年6月24日、伊香保温泉福一旅館「麗輝」の間に於いて、来賓に茂木校長、高橋副校長、田村教頭、森下事務長をお迎えして、同窓会設立110周年記念式典が開催されました。本大会は先立ち、東日本大震災で犠牲となられた方々へ黙祷が捧げられました。新井副会長により開会。山田文恵校長の挨拶に続き、茂木校長からご祝辞を頂戴し、また母校の進路状況と、5月に開催された県高校総体で山岳部の団体優勝をはじめ6つのクラブが関東大会へ出場するという活躍についてお話いただきました。

その後、同窓会設立110周年を記念して、毎年1年生が調理実習で使用する、家庭科室のテーブルコンロ9台の目録が村田会長と越中副会長より学校に贈呈されました。引き続き、同窓会合唱団「コル・モ」の皆様による美しいハーモニイが会場に響き渡り、最後には参加者169名全員で校歌を合唱して、110年の足跡に思いを馳せました。岡村副会長の閉会の辞で約40分間の式典が締めくくられました。その後、村田会長と吉村前会長により邦楽の披露があり、ほのぼのとした雰囲気の中、祝賀会へと移行いたしました。



### 松樹館収蔵庫について

吉永哲郎

松樹館収蔵庫は、高女関係の資料を収蔵しているのではなく、日本近代女子教育の原点を探る意味で、重要な意味をもっています。いかえれば、近代女子教育の原点を探

## 小径の椎

工女らの錦絵に春惜しみけり  
結婚記念日わすれな草を供へけり  
薫風やバイク相乗りせし事も  
母枝いま音楽堂や巴里祭  
星となる友に別れの校歌和す

54期 (高7) 永山比沙子  
うれしさに駆け出す球児春よ来い  
船を待つ薄墨色の花衣  
子鴉を餌付けてをりぬ魔女のごと  
裏町をビエロの急ぐ夏の果  
山降りて仔熊捕はる秋の雨

54期 (高7) 宮口喜代子  
県下の資料基地として、また明治以後に於ける女子教育の意味を探る基点として、重要な意味をもっているという意識です。群馬県高等学校が開校される以前から、近年に至る高女の歴史を辿る資料や、高女同窓生の記録やクラブ活動の成果を示す賞状、カップ、盾などを保管する。この学校で学んだ生徒が、地方はもとより、日本で、世界でどう活躍し、学んだことを

## 同窓会役員のご紹介

平成24年度の同窓会総会において、会則第6条と第8条に則り、左記の方々が承認されました。

(任期2年)

役員	氏名	任期
会長	新井京子	53期 (高6)
副会長	岡村和子	56期 (高9)
顧問	越中喜美子	60期 (高13)
顧問	戸塚 咲	26期 (高26)
顧問	吉村 晴	52期 (高5)
顧問	山崎 悦	64期 (高17)
顧問	山崎 悦	79期 (高32)
顧問	山崎 悦	79期 (高32)
顧問	山崎 悦	79期 (高32)
顧問	山崎 悦	79期 (高32)
顧問	山崎 悦	79期 (高32)



53期 (高6) 新井京子

### 新副会長のご紹介

同窓会創立110周年、一世紀を超える記念の年に新しく副会長を任命されました。期別役員をはじめ会員の声を反映でき、また幅広く窓口を開けて同窓会を目指して運営したいと考えています。又若い人達の力強いエネルギーやメディアを通しての情報も必要不可欠の時代となっています。心を通じ合いますし努力してまいりますので、ご協力ご支援をお願いいたします。



56期 (高9) 岡村和子

平成24年度、副会長の任を仰せつかりまして、身の引き締まる思いを感じております。微力ではありますが、在校中に学んだことある高女精神を想い、精一杯務めさせていただきます。役員の皆様が、和やかな雰囲気の中で熱心に意見交換を行い、速やかに議事決定して行く過程に、母校の教育の素晴らしさを再認識しております。力を合せて努めて参りたいと思っております。また、同窓生の皆様から賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



60期 (高13) 越中喜美子

平成24年5月より村田会長のもとで会務に携わらせていただいていた約一年が経ちました。同窓会の創立110周年は、高女の歴史の深さであり、現会員は3万2000名余の大家帯でもあります。この歴史は大切に継承されていくとともに責任の重さを感じざるを得ません。

「同窓生の写真も展示され、その中にはアメリカに留学し、日本女性初の心理学博士号を取得した原口鶴子がいます。この時期の資料がこれだけ残されている例は珍しく、全国的にも貴重なものですが、そのほか高女生の象徴、三蓋松のデザインについて、袴の裾の刺繍から現在のいわゆる「100メートルパスジ」に至るまでの変遷の展示なども楽しむことができます。宮中におさめられた「水辺花草」などの作品を描き、明治35年から本校教諭であった荒木よねの指導による卒業制作作品や、洋画家豊田一男のスケッチなども見ることが出来ます。

### 松樹館だより

松樹館は、群馬県で最初に創立された女学校としての本館の価値、重みを示す資料を収納する目的で建てられた資料館ですが、椎樹祭で公開されるのはあまり利用されない状況にあり、また未整理の収蔵物も多く「生きた」資料館としての価値をなかなか発揮できませんでしたが、その存在価値がさらに高まることとなりました。明治期の学校関係資料が特に貴重で、その中の一部をご紹介します。当時使用された教科書や明治40年の卒業証書、44年の「一校友會雑誌」第1号、45年の「同窓會報」第1号などは、明治39年の運動会や、45年水戸の大洗への修学旅行、清掃風景を写したものが残り、当時の生徒たちの生き生きとした様子が今に伝えられています。昭和40年4月、国語教諭



松樹館